

ガバナー公式訪問報告

※紙面の都合上や原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

江差ロータリークラブ

8/23(火)

8月23日(火)、石丸修太郎ガバナー、下村卓也地区副代表幹事をお迎えし行われました。当日第11グループ柏木秀之ガバナー補佐は都合により参加できませんでした。16:30～会長・幹事懇談会、17:30～クラブ協議会、18:30～夜間例会の日程でガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会では、前年度の【江差RC60周年記念誌】をガバナーに配布し江差RCの60年を振り返って頂きました。隅田会長からは、小さいクラブながらしっかりと活動今年度も継続して行く事を進言しました。石丸ガバナーからはクラブに対し感謝と激励をいただきました。

また、クラブ協議会では、田畑裕士社会奉仕委員長から継続的に活動している「植樹活動」を行います。伊藤武国際奉仕委員長からは当クラブでは奉仕プロジェクトに参加することは困難ですが、資金援助等を通じロータリー財団及び米山記念奨学会への支援していきたい。赤石智恵美職業奉仕委員長からは、「職業奉仕表彰」の継続と、会員相互の職業を理解すると共に、生業を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめることとロータリーの原点である「職業奉仕」を見直しつつ奉仕の実践をし、真の奉仕の形ならしめるように会員の資質を高めてまいりたい。など、委員長としての目標などご説明しました。

ガバナー所感：会員増強に関しては、今後も力をいれて取り組む必要がある。その参考資料として田中久夫著の『ロータリークラブに入ろう！』の参考してもらいたい。RLI (Rotary Leadership Institute)に若い会員に積極的に参加してもらいたいなど、ご指導頂きました。

夜間例会では、石丸ガバナー、下村地区副代表幹の参加を得て例会を終了しました。その後懇親会にもご参加頂き、気さくにお話頂きさらに懇親を深めることが出来ました。一つ一つ丁寧なご指導に一同、心より感謝申し上げます。



<月信委員会からのお詫び>

江差ロータリークラブのガバナー公式訪問報告記事は前月号に掲載予定でした。掲載が遅れてしまい申し訳ございません。この場を借りてお詫びいたします。

苫小牧東ロータリークラブ

9/1(木)

石丸修太郎ガバナー、この度は我が苫小牧東RCにお越し頂き誠に有難うございました。又随行されました川村忠地区幹事、田辺真樹ガバナー補佐におかれましては大変お忙しい中、前日も12グループを訪問されたとの事ですが、ご苦労様でした。

10時30分からの当クラブ平田幸彦会長、内海雅義幹事、佐藤史典エレクト、南澤雄二副幹事、木村京子SAA、山田広報委員長と共に参加して、雑談形式で約1時間程、会長・幹事懇談会を開催致しました。

約10分程当クラブの創立から今日迄の30年の歩みを動画で見て頂きました。

1992年6月に苫小牧北RCを親クラブとしてスタート致しました。発足時は32名でのスタートでした。それから5周年記念として、網代多賀RCさんと姉妹クラブとしてお互い調印しておりますが、今は、網代多賀RCさんが廃会しております。2016年には創立20周年記念と云う事で、グアムサンライズRCさん、龍ヶ崎中央RCさんと姉妹クラブとして調印しております。

今年度は再延長としての調印式を行う予定であります。その創立20周年記念から、グアム「クリスマスドロップ作戦」に毎年12月上旬に当クラブより参加者を募りグアム島のアンダーセン基地内に入り(許可取る)作業をして、グアムサンライズRCさんと龍ヶ崎中央RCさんと交流を楽しんで来ましたが、ここ3年程コロナ禍の中参加出来ないでおります。

この事業について石丸ガバナーからは大変素晴らしいとのご意見を頂きました。又、地元苫小牧市内での奉仕活動として、苫小牧の郵便番号「053」を「ゼロゴミ作戦」と位置づけて毎年5月に市内7か所にゼロゴミ看板を設置してある周辺のゴミ拾いを家族、留学生と共に作業をした後にBBQを楽しんで交流親睦を深めています。と報告をいたしました。

その後11時30分より別室にて「クラブ協議会」を開催し各部門の総括より今年度の活動計画の発表をお聞き頂きました。又今年度より新しく「未来ビジョン策定委員会」を立ち上げました。石丸ガバナーより参加者全員に今のロータリーに対しての思い、苫小牧東RCに対しての今の思いをお話し頂きたいとの事でした。この対応には各発表者は急なお話して、戸惑いもあったと思いますが、流石我がクラブ皆さんの素晴らしい発言に私も感動いたしました。

続いて、12時30分より全員参加による「通常例会」を開催致しました。

9月第一例会でしたので会長挨拶の後、9月誕生日の会員のバースデーソングを皆さんで合唱し、記念品を6人の会員にお渡ししました。川村地区幹事、田辺ガバナー補佐に一言頂き食事の後、石丸ガバナーより国際RC初の女性ジョニファー E. ジョーンズ会長のテーマ「イマジンロータリ」についてのお話と石丸ガバナーの掲げる活動テーマ「ロータリーに思いを馳せる」についてお話しを頂き、職業奉仕の貴重なお話しも頂きました。有難う御座いました。



苫小牧ロータリークラブ

9/2(金)

8月30日(火)に石丸ガバナー、田辺ガバナー補佐、久木地区財務委員、当クラブ宮崎会長、矢部幹事、広報委員長6名が、岩倉市長(苫小牧RC名誉会員)を表敬訪問しました。例年はガバナー公式訪問の日でしたが、本年度は日程の関係で別の日に実施されました。

石丸ガバナーより奉仕活動、クラブ活性化への思いを中心にロータリー活動の理解と協力をお願いいたしました。本年度はウィズコロナの中で出来る限りの活動を展開する事を述べて岩倉市長にお伝えしました。

9月2日(金)2022-2023年度国際ロータリー第2510地区石丸地区ガバナー、第12グループ田辺ガバナー補佐、川村地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、10時30分よりグランドホテルニュー王子百合の間に於いて会長・幹事懇談会が開催され、ロータリーの現状から未来に向けて今どう活動を展開すべきか、石丸ガバナーより有意義な提案とお話をいただき、活発な意見交換を行うことが出来ました。

引き続き第2回クラブ協議会が開催され、出席要請者である各委員会委員長をはじめ、新入会員、会員多数の出席した中での開催となりました。各委員会から本年度の活動計画の説明を石丸ガバナーにお伝えし、ガバナーからはロータリーの活動に対しての個々の意見が求められ、それぞれの委員長が率直な意見や感想を述べた後に石丸ガバナーより講評いただきました。

その後に公式訪問例会が開催され、石丸ガバナーが所属する札幌西RCと当クラブのバナー交換が行われ、ロータリーの友情の輪を広げたことを示すバナー交換でまたひとつ新たな友情の輪が広がる事が出来ました。

石丸ガバナーには「ロータリーに想い馳せる」をテーマにした卓話を頂き、当クラブに対してロータリー活動の存在意義を再確認させて頂くとともに、明確な目標意識と継続の重要性を認識させていただきました。

最後に石丸ガバナー、川村地区幹事のご訪問、心より感謝申し上げます。



伊達ロータリークラブ

9/6(火)

石丸修太郎ガバナー、徳田雄大地区幹事、濱中實ガバナー補佐、村井敦司補佐幹事をお迎えして9月6日ガバナー公式訪問が行われました。当日は、朝9時半より伊達市菊谷秀吉市長を表敬訪問しました。

会長・幹事懇談会では、唯木俊克会長より、今年度の会長方針や概要、現状の報告がなされ、石丸ガバナーより多くのご意見をいただきました。

クラブ協議会では、理事・役員・委員長出席のもと各担当理事から各委員会の活動計画について説明がなされ、石丸ガバナーよりそれぞれの活動に対して懇切丁寧なご講評をいただきました。

例会では、石丸ガバナーよりとても有意義な卓話を伺い、最後に唯木会長の謝辞で終了しました。

石丸ガバナーはじめ地区役員の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、クラブ訪問をいただき、会員一同心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。



室蘭北ロータリークラブ

9/6(火)

9月6日(火)ガバナー公式訪問、石丸ガバナー・濱中ガバナー補佐・徳田地区幹事・村井ガバナー補佐幹事をお迎えし、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会を行いました。

会長・幹事懇談会では、当クラブの年齢構成や過去5年間の会員の推移、コロナ禍において周年式典や記念事業などできたこと、できなかったことなどのお話をしました。

クラブ協議会では各委員長から活動計画の説明の後、入会3年未満の会員と増強委員長から『新入会員、女性会員の獲得へのヒント』についてご質問をさせていただきました。石丸ガバナーからは出席者に対して「それぞれが持つロータリークラブへの想い」を聞かせて欲しいとのお話がありそれぞれの思いのたけを聞いていただきました。



例会では、石丸ガバナーからガバナー就任までの準備や職業奉仕についての考え、ジョーンズRI会長がデザインしたテーマのマークが今年度の7つの重要課題を表したもの。10月24日ポリオDAYでのローカル放送局のネットワークの活用。来年開かれるRISキー同好会とメルボルンの世界大会と一緒にいきましょうなど、とても中身の濃いお話をいただきました。

例会のあとは二次会にも参加していただき、普段聞けないロータリーの話をついたり、むろらんやきとりを味わっていただいたりと大変楽しい時間を一緒にさせていただきました。

今回のガバナー公式訪問にあたりまして、ガバナー事務局にも大変お世話になり誠にありがとうございました。我々はこの公式訪問を機に、さらにクラブの活動を活発化させていきたいと思っております。



室蘭東ロータリークラブ

9/7(水)

令和4年9月7日、当クラブにおいてガバナー公式訪問が開催されましたので、その概要について下記のとおりご報告いたします。

・会長・幹事懇談会

冒頭、石丸がバナーより、テーマに縛られずに自由に発言してください、とのお話があり、気さくなお人柄が垣間見られたと感じました。当クラブの井上会長からは、クラブ成立の経緯や会員の職業、年齢構成などを説明し、次いであれこれなんでも相談会やイタンキ浜での植樹活動など、当クラブ独自の活動について説明しました。ガバナーからは安定したクラブ運営のためには更なる会員増強が望ましいとのお話があり、その手法について地区幹事、ガバナー補佐を交え自由闊達な議論を行いました。



・クラブ協議会

クラブ協議会においては、五代奉仕委員会を中心に各委員会より本年度の活動計画の発表を行いました。ガバナーからはインターアクトクラブを新たに作ってはどうかとのお話があり、ホストクラブが複数であっても可能であるとのことでした。また前年度に再開したRYLAについて、今年度は来年5月、小樽において2泊3日での開催を予定しており、会員の職場の若手社員を参加させてみてはどうかとのお話もありました。



・例会（卓話）

ガバナーより当クラブの公式訪問が35クラブ目で丁度、半分となるが、どのクラブも個性的で、2つとして同じようなクラブはないとのお話がありました。また、RI会長の掲げる本年度のテーマから、各クラブ員が是非、クラブの将来像を思い描いて欲しい、ICTを活用してクラブの情報発信を進めて欲しいとのお話がありました。

いずれのお話も、人を引き付ける魅力があり、ウイットに富んだ話し方には大変感銘を受けた次第です。地区大会においても貴重なお話が聞けるものと期待しております。



登別ロータリークラブ

9/7(水)

9月7日、午前中の室蘭東RC訪問後に、石丸修太郎ガバナー、徳田雄大地区幹事、濱中寛ガバナー補佐、村井敦司ガバナー補佐幹事に登別市役所にお越しいただき、当クラブからは川田弘教会長、若木康夫会長エレクト、守屋聡幹事が参加し、15:00に小笠原春一登別市長を表敬訪問いたしました。

その際、伊藤嘉規副市長にも同席していただき、登別市の概要と現況や課題からロータリークラブに関する幅広い事柄まで、予定時間を超過するほど活発に意見交換が行われました。

その後、会場である登別グランドホテルに移動し、新型コロナウイルス感染防止のため広い会場を使用して密にならないよう会長・幹事懇談会そしてクラブ協議会と進行しました。

16:00からの会長・幹事懇談会では、川田会長から当クラブの今年度運営基本方針を説明し、当クラブの例会場が正式に決定したことや活動状況、現状の課題などを報告いたしました。

石丸ガバナーからはロータリーの意義・大切さや有用性、女性会員も含む会員増強、各委員会の組織体制や活動内容について貴重なアドバイスをいただきました。

17:00からのクラブ協議会では、石丸ガバナーからご挨拶を頂戴した後、各委員会委員長の活動計画及び目標を説明するとともにロータリーに対する思いも語ってもらいました。

それに対して石丸ガバナーからの質疑や感想、アドバイスをいただきました。

18:00からの懇親会は、テーブル席が密にならないよう配慮し、総勢21名参加のもと開催いたしました。

その際、石丸ガバナーのご挨拶でじっくりとお話を聞く機会に恵まれて有難く新鮮な気持ちで拝聴させていただき、改めてロータリーの素晴らしさ・大切さ・楽しさを認識することが出来ました。

また、懇親会中は、遠藤秀雄パストガバナーを始め多くの会員の皆さんと楽しく和気あいあいと色々なお話をされ懇親を深めることが出来ました。

終了時間の21:00までであったという間で終始和やかで大変有意義な、当クラブにとりまして貴重な有難い公式訪問となりました。

誠にありがとうございました。



室蘭ロータリークラブ

9/8(木)

9月8日(木) 室蘭プリンスホテルにて、2022-2023年度第2510地区石丸修太郎ガバナー、徳田雄大地区幹事、第9グループ濱中寛ガバナー補佐、村井敦司ガバナー補佐幹事をお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。

午前10時半より会長・幹事懇談会が、午前11時よりクラブ協議会が開催されました。午後12時30分より例会が開催され、石丸ガバナーにご講演いただきました。「室蘭RCはWEBなどもう少し当会員皆様に広げ多くの情報を得られる事が必要であり、それが外に向けて輪になり相互扶助で関係性を高め充実したクラブ作りを目指して欲しい」とご講義いただきました。

室蘭ロータリークラブにとりましても大変有意義な公式訪問が開催できたこと、ご指導頂いた石丸ガバナーに心から感謝申し上げ報告といたします。



洞爺湖ロータリークラブ

9/8(木)

9月8日(木)石丸修太郎ガバナー、徳田雄大地区幹事、第9グループ濱中實ガバナー補佐、村井敦司ガバナー補佐幹事とともに、午後3時から洞爺湖RCの会員でもある下道英明洞爺湖町長を表敬訪問し、午後4時30分から洞爺湖RCの例会場である洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラスにて会長・幹事懇談会が行われ、会長より当クラブ独自の準会員制度を高く評価して頂きました。

午後5時30分からクラブ協議会を開き、各委員長より活動方針、活動計画の報告がありました。石丸ガバナーの講評の中で、「ロータリーの本質は、職業奉仕と親睦であり、20世紀と21世紀のロータリーは違う。」とのお話がありました。

午後6時30分から通常例会が開催され、仕事の都合で3名欠席しましたが、石丸修太郎ガバナーから卓話をいただきました。また、例会終了後には参加者全員で記念写真、地区大会用のクラブ紹介動画では、ガバナー、地区幹事も加わって頂き、公式訪問が無事終了。石丸ガバナー、徳田地区幹事、濱中ガバナー補佐、村井ガバナー補佐幹事に当クラブにご訪問いただき、ありがとうございました。



三石ロータリークラブ

9/12(月)

9月12日(月)、石丸修太郎ガバナー、第8グループ高村洋子ガバナー補佐、下村卓也地区副代表幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

午前11時から始まったクラブ協議会、会長・幹事懇談会では当クラブの概要、活動状況について説明し、その中で当クラブの重要課題である高齢化、会員減少を解決するにはロータアクトクラブを立ち上げ、若い世代に入会して頂き、その後クラブの正会員になって頂くという方法が効果的だと石丸ガバナーからアドバイスを頂きました。クラブ協議会、懇談会終了後、バナー交換をして昼食となりました。

12時30分からの例会では、石丸ガバナーは講話の中で「イマジンロータリー」、地区の活動テーマ「ロータリーに思いを馳せる」については、ロータリーの可能性、将来について皆で考え行動する事が必要で、それを全員が共有する事ですと解説しました。

職業奉仕については、自分の得意分野で人や社会に役に立つ事が職業奉仕に繋がるとの自身の考えを述べ、例会での卓話で自分の得意な事を発表しクラブの活動に役立てること又、自分たちにとって達成感が得られる事は何か、地域社会に評価される事は何かを考え行動する事が大切だと話されました。

3年ぶりに開催したRYLAに参加した、自社に勤める20代の女性は目を輝かせ、刺激的な体験で感動したという感想にふれ、来年5月12日～14日に小樽で開催するRYLAには三石地区からも2人か3人の参加を呼びかけました。RYLAは自分の意見を人に伝える、人に言うことを理解する、意見をまとめる力を養う場であり、その人達が将来ロータアクト会員となり正会員になる可能性が大きいと述べられました。

米山奨学寄附金は将来留学生が母国と日本との親善大使となることを目的とする大変意義の有るものですが、この地区では寄付金が少ないので十分に留学生を呼び事が出来ません。又、ポリオはこの先もなくなる事は無いので、引き続きこれらの寄付のお願いを呼び掛けました。

最後に「若い世代が入会するにはクラブが魅力的な場所であり魅力的な人達でなければいけない、その為にはロータリーを通してよりブラッシュアップして、皆で何か一つ良いことが出来たらという気持ちを醸し出して頂き、このクラブが明るい将来を描けることを心から祈念申し上げます」と温かいお言葉を頂きました。

例会終了後、全員で記念撮影をして公式訪問は閉会となりました。

本日、石丸ガバナーから頂いた貴重な助言、指導を糧に三石RCは一丸となりクラブの活動に励む所存であります。

石丸ガバナー、高村ガバナー補佐、下村地区副代表幹事には残された八ヶ月余りの任期を恙無く終える事が出来ますよう、三石ロータリークラブ会員一同心から願っております。

本日は誠にありがとうございました。



えりもロータリークラブ

9/12(月)

9月12日(月)石丸修太郎ガバナー、下村卓也地区副代表幹事、高村洋子ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問は、夜間例会として開催されました。

午後6時からの会場にて公式訪問での会長、幹事、会長エレクトとの懇談を行い、6時30分からのクラブ委員長との協議会の報告での石丸ガバナーからの貴重なアドバイス拝聴しました。

その後7時からの公式訪問とえりもRC、会員10名との夜間例会を行いました、会員とも和やかな雰囲気の中、地域社会の問題点と過疎化による、会員増強の難しいと話す、石丸ガバナーからの貴重なアドバイスとお話を頂き気さくな人柄が拝見させて頂きました、地域の植樹を題材にした映画撮影の予定されて事も有り、石丸ガバナーからの励ましの言葉も頂き、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

ご訪問頂きました、石丸ガバナー、下村副地区幹事、高村ガバナー補佐、には会員一同感謝申し上げます、また石丸ガバナーのご健勝を御祈念いたします。



様似ロータリークラブ

9/13(火)

9月13日(火)石丸修太郎がバナー、高村洋子ガバナー補佐、下村卓也地区副代表幹事をお迎えして、様似アポイ山荘にて公式訪問が開催されました。

様似町はアポイ岳世界ジオパークに認定されている町です。石丸ガバナーの到着が早かった事もあり、久野会長の案内でアポイ岳ジオパークビジターセンターの案内をする事に至りました。館内に入るとアポイ岳ジオパーク地形模型エントランスからすぐの正面に地形模型があります。様似町の全域が14,000の1縮尺で表現されており、ジオパークの解説やサイトの案内のみならず、アイヌ語地名や地質図といった多様な情報が表示されておりましたので、大変分かりやすかったと思います。その後、ガバナーと会長の記念撮影で案内を終了し会場に戻り公式訪問が開催されました。

午前10時30分から会長・幹事懇談会ではガバナーも気さくに話され、他のクラブの例会状況を踏まえ、今後の例会方法などのアドバイス等も頂きました。

11時30分からのクラブ協議会では各委員会から活動計画をそれぞれ発表し、ガバナーから親切丁寧な講評があり、各委員長も真剣にやり取りを行っていました。

12時30分の例会では食事の後、石丸ガバナーのご挨拶と卓話をいただき、終始和やかな雰囲気の中での公式訪問となりました。

終了後、石丸ガバナーを囲んで記念撮影を行い、公式訪問終了となりました。

終わりに、第2510地区の公式訪問が無事に終了されますよう御祈念申し上げます。



浦河ロータリークラブ

9/13(火)

「気さくなガバナーに良い顔でホット一息」

当会は第8グループの中で一番初めに設立されたクラブであり、昨年創立60周年を迎えました。しかし、人口減少や少子高齢化のなかで老舗のクラブにもその影響は大きく、更にはコロナ禍の経済的影響により退会する方もいて、最大時は平成8年に57名、それから年々減少し平成30年には26名、現在は19名となっております。現在、2名の女性会員の存在がクラブに大きな元気と力の原動力となっております。

今年の会長と幹事は、コロナ禍の中で一度会長、幹事を受けておりましたが、満足に力を発揮できなかったものとして、再登板する仕組みを造りました。60年で初めての改正となります。会員の年齢構成は、最高齢で87歳、一番若い方は47歳、平均年齢は66歳です。

例年のことではありますが、やはり地区ガバナーの公式訪問は皆緊張するもので、身構えながらガバナーを迎えました。各委員会の取り組みの説明を順にしていきましたが、やはり新しい役員は恐れをなしたのか説明も棒読みとなります。そんな中、ガバナーの特徴的な語り掛けるようなアドバイスは、時にやさしく、時には厳しさもあり、あっという間に皆ほっとする雰囲気になりました。

例えばプログラム委員長は、「今、力を入れているのは、会員ミニ卓話です。ニコニコボックスでの会員の一言が大変すばらしく、是非もう少し長く聞いてみたいと考え実施しています。」と話す、ガバナーより「例会での卓話はどんどんやるべき。お互いを知り自分の能力を皆に教えてもらったら、すごく勉強になる。」と褒めて頂きました。

出席委員長には、ガバナーから「出席しなければ始まらないよ。さて、どうするか・・・」と、答えは「皆でどうするか計画を創り出すこと」。

親睦委員長には、「夜間例会はお互いの顔が見える7人程度が良い。試してごらん。どんどんやるべきだ。」とのアドバイスを受けました。

特に職業奉仕のサービスのとらえ方など、今まで何度聴いてもあまり理解できなかった職業奉仕の在り方。ポール・ハリスが何をしてきたのか、だからここまで世界にロータリークラブが伸展していったのだという説明に皆納得し一喜一憂のなかに、アツという間に時間は過ぎてしまいました。

その後、例会での卓話を頂き、お互いのクラブの友情の印としてバナーの交換をし、最後に石丸ガバナーとの記念写真には皆の固かった緊張も解け、自信に溢れたにこやかな笑顔で写真に納まりました。



静内ロータリークラブ

9/14(水)

9月14日(水)石丸修太郎ガバナー、高村洋子ガバナー補佐、下村卓也地区副代表幹事をお迎えし公式訪問として新ひだか町公民館にて開催いたしました。

午前10時30分より行われた会長・幹事懇談会では、細川パストガバナー、西村ノミニーが出席して四ツ屋会長より当クラブの活動方針と活動内容、特に青少年育成事業として「静内ロータリークラブ杯小学生バレーボール大会」を継続主催し、高校生の就職アドバイザーとして模擬面接の指導などを行っている事を説明いたしました。ロータリーについての話は尽きることなく会長・幹事懇談会は充実した時間を過ごす事が出来ました。

11時30分よりクラブ協議会が開催され5大委員長より本年度の活動計画とその進捗状況を発表させて頂き、石丸ガバナーより大変貴重なご意見、ご講評を頂きました。特に職業奉仕についての石丸ガバナーの考え方がとても分かりやすく、理解を深める事が出来ました。

12時30分点鐘、通算2,461回の例会が開催され、石丸ガバナーよりロータリー財団、ジェニファーE. ジョーンズ会長の考え方などの講話を頂きました。

石丸ガバナーから頂いたご助言を今後の静内ロータリークラブの更なる発展に繋げていきたいと思っております。



長万部ロータリークラブ

9/15(木)

9月15日(木)石丸修太郎ガバナー、第10グループ玉井清治ガバナー補佐、久木利弘地区財務委員をお迎えして公式訪問が開催されました。

9時30分：役場庁舎で、石丸ガバナー一行をお迎えして初めに井上会長から、当クラブが役場庁舎前に寄贈した大理石の「町民顕彰碑」、ポケットパークの「花壇」を紹介。

10時00分：木幡町長（RI会員）を表敬訪問。佐藤副町長（RI会員）、近藤教育長（RI会員）も同席して、マスコミで話題の「水柱」の現状と対策や新幹線長万部駅開業への現状が話題になった。

10時30分：会長・幹事懇談会。井上会長から、現在10名の会員で活動しているクラブの現状の報告に対してガバナーから、楽しいクラブ活動と会員増強についてご指導を頂いた。

11時00分：クラブ協議会は、通常例会場「あつまんべ」2階に移動して開催。木幡町長など4名は定例議会開会中で欠席。3名の委員長も職務で欠席の中、会長、幹事、社会奉仕委員長の3名で開催された。

新型コロナ禍の中、3密・換気等で感染防止対策の会場。井上会長は、石丸ガバナーと随行者の紹介と歓迎のあいさつに続いて、本年度の方針では、少数会員のクラブですが地域密着の奉仕活動の実践を通して、会員純増でロータリーの火を灯し続ける決意があった。次に各奉仕委員会の活動報告に対して、石丸ガバナーは、少人数の中でよく頑張っている。奉仕活動も出来ていてその点会員数の問題ではない。また、ローター活動の全てに職業奉仕（奉仕の理想）を適用等々。各委員会に総評を頂いた。

12時10分：ガバナー公式訪問例会。職業奉仕委員長が出席。ガバナーは卓話で「ロータリーは変わった。」職業分類では1業種1名が21世紀に入って1業種5名になった。「職業奉仕とは。職業奉仕の理念とは。」RIは職業奉仕が基本です。自分の得意分野、個性など自分に何ができるか等を重んじてロータリーが火付け役を担っていこう。ロータリークラブの奉仕の精神は、寄付にあると思う。ロータリー財団に重点を置いてほしい等ご指導を頂いた。

最後に、石丸ガバナーを囲んで随行者と一緒に記念写真を撮影し、ガバナー公式訪問は終了しました。ありがとうございました。



2022～23年度石丸ガバナー公式訪問

岩見沢ロータリークラブ

9/15(木)

新型コロナ感染拡大防止から延期になっていたガバナー公式訪問が9月15日に開催されました。最初に石丸ガバナー、久木地区財務委員、松下ガバナー補佐、篠田ガバナー補佐幹事をお迎えしての会長・幹事懇談会から始まり、西方会長から当クラブの現状を説明し、ガバナーから貴重なご意見やアドバイスを頂きました。

クラブアッセンブリーでは、各委員長からの今年度の活動計画・報告とともに、石丸ガバナーからの「ロータリーに対する想い」への問いに各々のロータリー観を発表させていただきました。ガバナーには当クラブ会員のロータリーに対する意識の高さを感じていただいたようで褒めの言葉を頂きました。その後、全会員と共に写真室での集合記念写真を撮影し思い出の一枚とすることができました。



最後に会場を移し、例会セレモニーの後、石丸ガバナーからご講話を頂き、「ロータリーの価値観」と「職業奉仕」の考え方について、これまでのガバナーとは違った雰囲気の中で非常に興味を持って最後まで傾聴する内容でした。

石丸ガバナーは昼の長万部ロータリークラブの公式訪問を終わらせて、休む間もなく岩見沢までお越しいただきお疲れの中でのガバナー公式訪問となりましたが、当クラブにとって今年度の活動を後押ししていただける内容になりました事に対し心から感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



小樽南ロータリークラブ

9/16(金)

9月16日(金)石丸修太郎ガバナー、吉田聡第6Gガバナー補佐、川村忠地区幹事、当会会員の松浦ガバナーエレクトをお迎えし、オーセントホテル小樽にてガバナー公式訪問が開催されました。

午前10時より、会長・幹事懇談会が開催され、山村会長から当クラブの特徴や活動状況について説明させて頂き、石丸ガバナーよりインターアクトにはロータリーだからこそ国際性が重要である事、そして地区大会でのユースフォーラムに是非参加して欲しいとの助言を頂きました。

午前10時45分よりクラブ協議会が開催され、各委員長より活動計画の説明とガバナーからの提案でロータリークラブへの想いも合せて発表することとなりました。各委員長の想いを聞かせて頂くと共にガバナーからの助言を頂き新鮮な想いを感じることが出来ました。

午前11時45分よりコロナ禍の中密にならない対策として行っている食事を小樽の景観を見ながらホテル最上階で取って頂きました。

午後12時30分より例会が開催され、石丸ガバナーを始めゲストの方の紹介後、バナーの交換をさせて頂き、ガバナーのご講演を頂きました。ロータリーは職業奉仕と教わり入会したこと、21世紀に入りロータリーが変わった事、情報交換がありロータリーに価値があった時代からインターネットの時代に入りロータリークラブに入らなくとも情報が取得出来る時代になった事。これからは、メンバーが持っている才能を利用したサービスを皆で共有する。自分が人の為に出来ることを皆で共有しなければロータリーは存続出来ないとお言葉は、印象に残りました。しかし同時に理解が難しいとも感じました。

自分の持っている才能を使い、クラブで活動する。を心に占め今後のロータリー活動をしていこうと感じました。石丸ガバナー、吉田ガバナー補佐、川村地区幹事のご訪問に一同感謝を申し上げ、ご健勝で更り多き一年となりますよう祈念いたします。



小樽ロータリークラブ

9/20(火)

9月20日(火)石丸修太郎ガバナー、吉田聡ガバナー補佐、川村忠地区幹事をお迎えしての公式訪問を実施いたしました。

10時半からの「会長・幹事懇談会」では当クラブの会長・次期会長・幹事で懇談をさせていただき、小樽RCの現状等について遠藤会長より報告させていただいた後、石丸ガバナーからは各RCの現状や会員増強についてなどクラブ内での人材育成などお話をいただきました。

11時半からの「クラブ協議会」では、各委員会の委員長より自己紹介を兼ねて事業計画と進捗状況等を発表し、その後石丸ガバナーより講評及び職業奉仕について示唆に富んだヒントをいただき、終始和やかな雰囲気の中でクラブ協議会を終了いたしました。

「クラブ例会」では石丸ガバナーから、一人ひとりができる国際奉仕、国際親善についてのお話し、米山財団・地区大会・ポリオ根絶支援について参加する目的と奉仕の理想のすばらしさについて会員に向けた卓話をいただきました。

石丸ガバナーにおかれましては、お体にご留意され、残りの公式訪問をはじめ年度内全ての事業が無事に終了されますことをご祈念申し上げ、公式訪問の御礼とさせていただきます。石丸ガバナー誠にありがとうございました。



2022-2023年度 小樽ロータリークラブ「ガバナー公式訪問」令和4年9月20日 グランドパーク小樽

蘭越ロータリークラブ

9/20(火)

9月20日(火)午後4時より蘭越商工会応接室において、石丸修太郎ガバナー、吉田聡ガバナー補佐、川村忠地区幹事をお迎えし、クラブ会長の佐藤義久、幹事の小澤修、次期会長の山田一晴会員同席の上、会長・幹事懇談会を開催致しました。

会員の少ない少人数クラブでコロナ禍その活動も停滞している中、例年会員増強を最大のテーマに掲げ活動を続けていますが、地域の経済活動は厳しくなかなか思うに任せない状況が続いておりました。しかし、今年度より1名の新会員を迎えたことやクラブの抱えるいろいろな問題を述べ石丸ガバナーより助言を頂きました。



引き続きクラブ協議会を開催し、各委員長が今年度の活動目標を発表し、石丸ガバナーより『少人数のクラブなりに委員会の構成を考え、例会のあり方を考えるなど積極的な運営をおこなっている。少人数ならではの利点もある。今後もぜひ続けていただきたい』とご意見を戴きました。続いて例会の最後に石丸ガバナーより卓話を吉田ガバナー補佐より所感を頂き、バナーの交換を行いました。

全員で記念写真を撮影した後、幽泉閣に場所を移し懇親会で親睦を深めました。



倶知安ロータリークラブ

9/21(水)

例会に先立ち、2022年9月21日10時30分より会長・幹事懇談会、11時30分よりクラブ協議会がありました。

出席者は石丸修太郎ガバナー、川村忠地区幹事、吉田聡ガバナー補佐、当クラブ各委員長で、各委員長からのロータリーに関する意見や思いなどを発表する場となりました。

青木会長からは、倶知安RCの60周年が再来年にせまっていること、記念事業として、倶知安RCと縁の深いどんぐり公園の遊具の交換などを検討していることなどが報告された。また、10月12日には白馬RCの会員の来訪が予定されており、親交を深めたいことが述べられた。

渡邊幹事からは、60周年の記念事業は、複数年度に跨がる事業であることから、次年度会長の意見も聞きながら進めていること、アイデアとして、障害を持つ子供たちも遊ぶことができる砂場やブランコなどの遊具（インクルーシブ遊具）を検討していることなどが報告された。

例会では、石丸ガバナーから以下のとおりの卓話がなされました。

子供の頃にスキーに倶知安へ車で来た記憶があり、毛糸の手袋を今でも覚えてます。

高校生の時には望羊荘に泊まり、ニセコ連山に登りましたが、当時は零戦のカケラが残っていたりしてました（注：零戦闘機の着氷実験機の事・現在郷土館にて展示）。

さて、本年度のテーマであるImagine Rotaryですが、「明日に向かってみんなで創造」とも訳されますが、RI会長は最近余りこの言葉を使わないようです。

私の地区目標では、「ロータリーに想いをはせる」～明日のロータリーに夢を込めて～としましたが、今考えてるのはロータリーの原点は職業奉仕にあり、そこが他団体と一線を画す所でもあります。

元々ロータリーは1905年にポール・ハリス達による会員間の商売共有が始まりで、その為の1業種1人でした。職業、生業といったボケーションこそ原点だったのです。

現代においては仕事や趣味といった自分の持つ才能を生かす事が職業奉仕に通じます。それは人の為になる得意なものを持ったものを共有する事で、会員卓話などをどんどんやって頂きたい。

END POLIOに関しては、世界では終わっておらず、ビル・ゲイツ財団と共有はしていますが、なかなか悩ましい問題でもあります。

ロシアによるウクライナ侵攻に対する支援については、2地区合同で5万ドルで消防車を購入した所もありますが、国境を越える事や戦争地域への支援となりますので直接の支援となればかなり難しい問題となっております。

倶知安RCにおきましてはRI、地区へのご協力も是非お願いし、来年5月にはメルボルンにて国際大会が開催されますので是非ご参加をお願いします。



余市ロータリークラブ

9/21(水)

2022年9月21日(水)16時30分からホテル水明閣にて石丸修太郎ガバナー・第6グループ吉田聡ガバナー補佐・川村忠地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問における会長・幹事懇談会を余市RCから森義仁会長をはじめ副会長・幹事・副幹事の4名が参加し開催されました。森会長から当クラブの特徴や活動状況の説明があり、クラブの状況を把握し検証して頂きました。その中で、余市町出身の宇宙飛行士毛利衛さんの実家が銭湯を経営していたことから余市の海で海水浴をした後、毛利さんの銭湯をよく利用していたことなど石丸ガバナーから余市町に関連した子供の頃のお話をして頂いたため、我々の緊張も解けその後の会談もスムーズに進行することが出来ました。石丸ガバナーのお心遣いには感謝申し上げます。



17時30分からはクラブ協議会が開催され、各委員長の活動計画に対する意見交換を行う中で、石丸ガバナーから「各委員長さん達のロータリーに対する思いを聞かせて欲しい」という要望があり、各委員長がロータリークラブでの経験や感想・ロータリークラブに対する思いを発表する場となりました。各委員長の思いは、我々も知らないことが多く大変貴重な時間となりました。その後、石丸ガバナーが職業奉仕に関する持論を展開され、会員内での卓話の重要性などのアドバイスを頂きました。例会終了後、会員からは「職業奉仕が非常に分かりやすく説明されていた」などの感嘆の声が上がっておりまして。

18時30分よりガバナー公式訪問例会が開催されバナー交換後、石丸ガバナーからRI国際大会・地区の役割・ポリオ根絶などについてのお話を頂き、今後のクラブ活動に向け、有意義な時間を過ごすことができました。また今まで訪問したクラブで、お弁当の持ち帰り例会にしているのは余市を含めて2クラブしかないそうで、いつから通常の例会に戻そうと迷っていた我々に地区の貴重な情報提供もして頂きました。

終わりに、今回の公式訪問では石丸ガバナーのロータリーに対する情熱とその温かいお人柄に触れることが出来、今後の励みになりました。会員一同、心より感謝申し上げます。石丸ガバナーにおかれましては、お体を大切にして、益々のご活躍をご期待申し上げますと共に、残すところ僅かとなった公式訪問や地区大会など全ての事業が無事終了されることをご祈念申し上げます。



岩内ロータリークラブ

9/22(木)

石丸修太郎ガバナー、吉田聡ガバナー補佐、川村忠地区幹事3名をお迎えいたしました。

午前10時30分から開催された会長・幹事・会長エレクト懇談会ではクラブ内の現状や活動、岩内RC成田賢一会長今年度の目標である「広報、共有、シンプル」について質疑応答がありました。石丸ガバナーからは広報活動についてSNSやHP、地区HPへの貼り付けなどで周知することが、広報活動の有効な手段であるとの助言をいただきました。

また、近年若手の新入会員が増加している岩内RCについて、会長が率先して他のクラブへのメークアップへ若手と一緒にいくことにより、広い交流を通じて知識向上に繋がるとのお話や、青少年交換留学生、インターアクト、ローターアクト、財団奨学生、米山奨学生なども会員の子供や孫にもっと共有してロータリアンとしての意識を高めてもらいたいとお言葉をいただきました。

引き続き午前11時30分から開催されたクラブ協議会では各委員会活動についての質疑応答となり、奉仕プロジェクト委員会については、新世代関係「小学生手作り絵本コンクール」については今後も継続して頑張りたいとの励ましを受けました。ロータリー財団・米山記念奨学委員会については、岩内RC独自のチャレンジプログラムは会員個人が様々な目標にチャレンジを宣言しその成果に対してクラブに寄付を行います。今、現在のチャレンジがどのようなものかを確認し励まし合いの精神で今後も期待しているとの励ましをいただきました。広報委員会についてはロータリー文庫がどのような場所でもどのように利用されているかもっと会員全体で確認しあって欲しいとの励ましをいただきました。

12時30分からの昼食を挟んで開催された例会では石丸ガバナーの海外での経験について、今年度の米山奨学生について、そして一番大切なのはロータリーの原点である会員卓話を今以上に充実させることによって、情報を共有することができ、この地で楽しいロータリー活動を一丸となってやれる。それがロータリーの最大の宝であり、楽しいロータリーライフが過ごせることになるとのご講話をいただきました。

岩内RC会員一同、あらためてロータリーの仲間意識を向上させる有意義な時間となりました。数ある公式訪問でお疲れご多忙中にもかかわらず、石丸ガバナー、吉田ガバナー補佐、川村地区幹事のご訪問に心より感謝申し上げ、この度のご報告とさせていただきます。本当に有り難うございました。



小樽銭函ロータリークラブ

9/22(木)

9月22日石丸ガバナーの公式訪問がありました。緊張の中クラブの目標・計画など報告、最近の小樽銭函RCの様子など、話し合いをしました。

野球大会が37回続いていることには驚嘆され、今後とも少年のために頑張るよう、はげまされました。会員が減ったことには、言及はなかったが、何回も訪れロータリーの良さを伝えていくことが、肝心である。と言われました。職業奉仕とは何なのか？いつも疑問に持ち、何をすべきかと思っていました。会員一人一人の職業を会員に伝えることも奉仕の一環である。と言われ、胸のつかえが降りた気がしました。今年度は会員のヒストリーを順番に話しているところです。と伝えるとこれこそ職業奉仕です。と言われ良かったと胸を撫でおろしました。6時から会食を伴いながら、会員と雑談しながら楽しいひと時を過ごしました。石丸ガバナーご行様ありがとうございました。



札幌北ロータリークラブ

9/26(月)

会長・幹事懇談会 10:30～

国際ロータリー第2510地区石丸修太郎ガバナー、古野重幸第4グループガバナー補佐、川端忠範第2510地区度財務委員長にお越し頂き、袁輪隆宏会長、姫野芳安会長エレクト、林里紅幹事合計6名で開催されました。

袁輪会長より札幌北RCの概要説明、クラブ内での奉仕活動や委員会活動などお話がありました。石丸ガバナーからは会員増強のアドバイスや他クラブの様子など貴重なお話を頂き終始和やかに行われました。

第2回クラブ協議会 11:30～

袁輪隆宏会長のご挨拶で始まり、石丸修太郎ガバナーよりご挨拶頂きました。

また、石丸ガバナーよりRIテーマ、地区目標などのご紹介がありました。

各委員長様より活動計画、現況報告があり、石丸ガバナーのリクエストとして、「私のロータリーへの想い」を各委員長様より発表頂きました。

通常例会 12:30～

古野ガバナー補佐、川端財務委員長よりご挨拶を頂きました。

ガバナーからはご自身の経歴やロータリー経験談、また現在のロータリーについてお話を頂きました。札幌北RCについては奉仕活動や地区活動なども活発に行われていて、とても雰囲気の良い温かいクラブですね。とご感想を頂きました。

最後に小林パストガバナー、竹原委員長よりご感想頂き例会終了後に記念撮影をして終了致しました。石丸ガバナー、古野ガバナー補佐、川端財務委員長のご来訪心より感謝申し上げます。



札幌はまなすロータリークラブ

9/26(月)

9月26日(月)石丸修太郎ガバナー、古野重幸ガバナー補佐、中村真規地区幹事をお迎えし、札幌サンプラザにてガバナー公式訪問が開催され、16時30分から会長・幹事懇談会、17時30分よりクラブ協議会と続き、18時30分より例会が行われました。

石丸ガバナーからは、ナイターでの少年野球大会を続けていること、他クラブでは見られないような素晴らしい会報を作成していることをお褒めいただきました。

また、会報も含め、当クラブでの活動については、地区ホームページに掲載するなどして積極的にアピールすべきとの言葉をいただきました。

石丸ガバナーの卓話では、世界大会や米山奨学金、ポリオなど多岐にわたるお話がなされました。そのなかでも職業奉仕の理解について詳細にご説明いただきました。日本と外国での職業奉仕の解釈や、その英訳である「Vocational Service」の語源からの推察、そこから、退職後も職業奉仕は存続するとのお話は、とても示唆に富むものでありました。

石丸ガバナーのお話は、今後のクラブ運営にとってとても参考となるものになりました。

最後に、石丸ガバナー、古野ガバナー補佐、中村地区幹事には、大変多忙なスケジュールのなか、当クラブに訪問していただき、心より感謝申し上げます。



札幌真駒内ロータリークラブ

9/28(水)

今年度はコロナウイルスの影響も無く、予定通9月28日にガバナー公式訪問の日を迎える事が出来ました。石丸修太郎ガバナー、平昌夫ガバナー補佐に加え、川端忠範地区財務委員長もご同行下さいました。当方は齋藤康嗣会長、北島正之会長エレクト、高野園子幹事の3名でお迎えしました。

会長・幹事懇談会では石丸修太郎ガバナーの国際ロータリーのテーマや目標、D,E,Iについてのご自身の見解での解説をなさっていらっしゃいました。また、地区の方針についての説明やガバナー月信のデジタル化についての説明など今年度の変化についての理由、利点などについてもお話しいただきました。また、会員増強についても会員の人数の多少にかかわらずクラブの奉仕活動ができるという地区内の実例もお教えくださり、大変参考になりました。また、こちらからはクラブの特徴である、姉妹クラブ、友好クラブの説明をし、和やかな雰囲気のまま懇談会を終えました。

次に11時半よりクラブ協議会がスタートしました。最初にガバナーより各委員長に対して、計画書を読み上げるのではなく、ご自身の言葉で活動計画を話してほしい、またご自身のロータリー観も聞かせて欲しいとのご要望があり、委員長の皆さんは少々とまどいもあったかと思いますが、それぞれの計画についてしっかり発表して、ガバナーからも時間ギリギリまでご講評を戴きました。

例会では会場の17階から快晴の秋らしい景色をお楽しみいただけたと思います。ガバナーとバナー交換してから、卓話が始まりました。石丸ガバナー独自の見解RI会長のテーマである「IMAGINE」についての解説をしてくださいました。そのほか、ガバナーの役目についてのお話し、メルボルン国際大会のお誘い、国際ロータリースキー同好会がニセコで開催されることに対してのご案内、米山奨学会についての当地区と他地区の比較についてのご説明などがありました。ロータリー財団については、ウクライナ支援に対しての地区補助金の活用内容についてお話しく下さいました。親しみやすい語り口調でロータリーの様々な情報が次々と紹介され、会員一同興味津々な様子で話に聞き入っていました。ロータリアン同士で活動や情報を共有することが結果的に地区にとって良い活動に繋がるのではないかとのお考えから、地区のホームページのリニューアルを行ったことが紹介され、各クラブでも会報を載せるなど積極的に活用してほしいというお話がありました。

石丸ガバナーにおかれましては、お忙しいスケジュールの中、当クラブをご訪問いただきましてありがとうございました。

